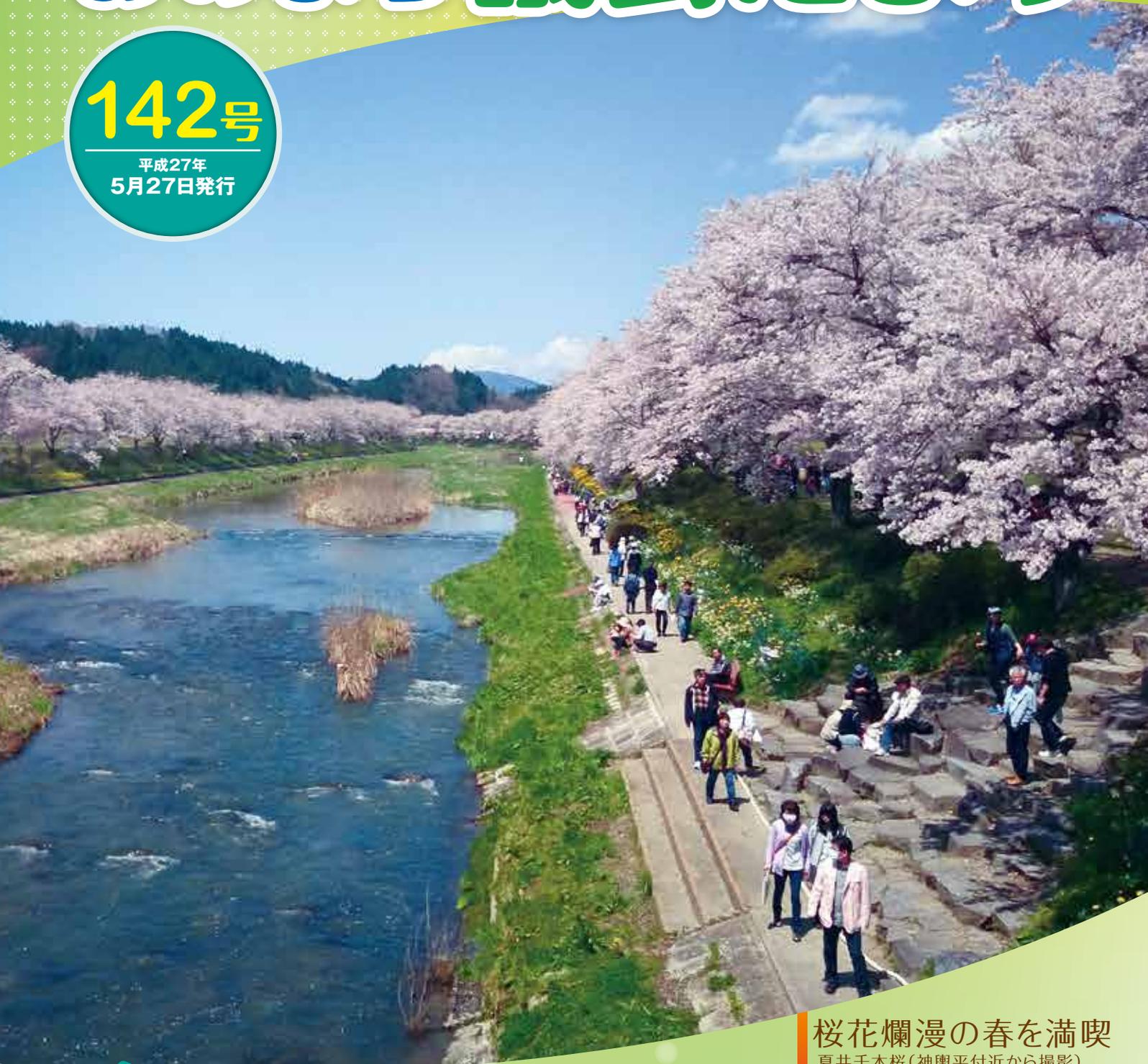


笑顔とがんばりの町

おのまち議会だより

142号

平成27年
5月27日発行



桜花爛漫の春を満喫
夏井千本桜(神輿平付近から撮影)

主な内容

定例会3月会議の結果	2	議会活動トピックス	14
町政を問う 6人が一般質問	5	2月~4月の議会活動日誌	15
あの一般質問を追跡!	12	町民の声	16

定例会3月会議

3月5日～3月13日

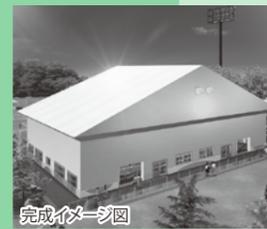
平成27年小野町議会定例会3月会議は、3月5日から13日まで9日間の日程で開かれました。
 会議では、平成26年度各会計補正予算、平成27年度各会計当初予算、条例の制定及び一部改正など40件の町長提出議案と議員提出議案2件が提出され、議案はすべて原案のとおり可決しました。
 また、6名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをいただきました。



▲予算審査特別委員会現地調査

平成27年度 重点事業 ピックアップ

1 多目的運動施設整備事業



事業費 2億9805万円
 小野公園内に多目的屋内運動施設を整備

2 小野町60周年記念事業

事業費 681万円
 小野町合併60周年を記念した事業を実施

3 6次産業化・新振興作物推進事業



事業費 323万円
 「黒にんにく」などの6次化商品開発を支援

平成27年度当初予算を可決 一般会計50億2500万円

平成27年度当初予算は、第四次小野町振興計画後期基本計画に基づく諸施策を基本とし、前年度に引き続き、東日本大震災及び原子力災害からの復興、過疎地域自立促進計画に基づく事業などに重点に取り組む内容のほか、今年度は小野町合併60周年に当たることから、各種記念事業に要する費用が計上されました。

<平成27年度当初予算額>

※1万円未満切り捨て

会計区分	本年度予算額	前年度予算額	増減		
一般会計	50億2500万円	45億6000万円	4億6500万円		
特別会計	国民健康保険	15億1040万円	13億7000万円	1億4040万円	
	後期高齢者医療	1億637万円	1億800万円	▲162万円	
	除染対策事業	5300万円	8億5000万円	▲7億9700万円	
	介護保険	11億7054万円	10億6700万円	1億354万円	
	介護保険サービス事業	325万円	350万円	▲24万円	
	浄化槽整備推進事業	8549万円	7100万円	1449万円	
	文化・体育振興基金	313万円	320万円	▲6万円	
地方公営企業会計	水道事業	収益的収入	1億6497万円	1億5975万円	522万円
		収益的支出	1億5973万円	1億5594万円	379万円
		資本的収入	1億1413万円	6113万円	5300万円
		資本的支出	1億9191万円	1億6680万円	2510万円

5 観光イメージアップ事業



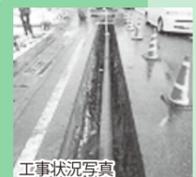
事業費 573万円
 高柴山「矢大臣山」の観光自然の環境整備

事業費 848万円
 県立自然公園管理事業

6 妊婦健康診査事業

事業費 750万円
 妊婦一般健康診査及び産後1ヶ月健診に対する助成

7 重要給水施設配水管事業



事業費 8700万円
 石綿セメント管等をポリエステル管等に布設替え

<平成26年度補正予算額>

会計区分	補正額	補正後予算額		
一般会計	1億4922万円	53億2233万円		
特別会計	国民健康保険	▲844万円	13億9965万円	
	後期高齢者医療	4万円	1億738万円	
	除染対策事業	▲1億6460万円	6億8471万円	
	介護保険	3493万円	11億2704万円	
	浄化槽整備推進事業	▲80万円	7073万円	
	文化・体育振興基金	46万円	375万円	
	地方公営企業会計	水道事業	収益的収入	364万円
収益的支出			▲181万円	1億6097万円
資本的収入			100万円	7673万円
資本的支出			▲40万円	1億7591万円

補正予算

平成26年度一般会計並びに各特別会計等の補正予算について審査し、全て原案のとおり可決しました。
 各会計の補正予算額については、左表のとおりです。

※1万円未満切り捨て

条例の制定・一部改正

条例制定5議案及び条例の一部改正13議案を可決しました。主な内容は次のとおりです。

◆小野町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

子ども子育て関連3法の児童福祉法の改正により、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準について、市町村ごとに条例で定めるよう義務付けられたことに伴い制定したものです。

◆小野町放課後児童クラブ条例

児童福祉法に規定する放課後児童健全育成事業を行うため、「小野新町放課後児童クラブ」を設置するため制定したものです。

◆小野町課設置条例の一部を改正する条例

効果的かつ効率的な行政運営を図るため、組織機構と事務事業の一部の見直しが行われたものです。

◆小野町介護保険条例の一部を改正する条例

平成27年度から平成29年度までの介護保険第1号被保険者保険料の基準保険料率を26%引き上げ、低所得者には公費による軽減措置を行うものです。

※全ての議案名は小野町議会のホームページに掲載の会議録からご覧いただけます。(6月下旬掲載予定)

その他の議案

◆小野新町地区仮置場進入路整備工事請負変更契約の締結

小野新町地区仮置場進入路整備工事(3.4.5工区)の工事内容に変更が生じ、変更契約を締結するため議会の議決を求めるものです。工事請負契約の場合、予定価格が5,000万円以上の工事に係る契約及びその後の変更契約の締結は議会の議決が必要です。

◆町道路線の認定

福島県が整備した浮金地内の農道(町に管理移管)と町が中居住宅団地内に作られた道路を町道として管理するため次の路線を町道として認定するものです。

◆路線名：「日影館線」(2,614m)

◆路線名：「中通5号線」(856m)

◆町道路線の変更
浮金地内の農道が福島県から町に移管と町道の整備により、次の4路線の距離に変更が生じたため、認定の内容を変更するものです。

◆路線名：①浮金中線、②七ツ柳線、③小治郎下都線、④請地本南内線

人事案件

◆人権擁護委員候補者を適任と認定

法務大臣に人権擁護委員の推薦を行うための人権擁護委員の候補者に、先崎隆春氏(本町)を推薦したいとして、議会に意見を求められたことから、全員一致で推薦は適任と判断したものです。

議員提出議案

◆小野町議会委員会条例の一部を改正する条例

小野町課設置条例の一部改正に伴い、総務文書常任委員会及び厚生産業常任委員会が所管する課の名称等を改めました。

◆意見書の提出

陳情採択に伴い、福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書を衆議院議長等に提出しました。

【議案提出者：宗像芳男議員】
【意見書提出先：衆議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、福島労働局長】

陳情の審査結果

定例会3月会議では2件の陳情書を審査し、それぞれ採択しました。

◆農道(上合内地区)の町道編入と拡幅整備に関する陳情書

(陳情者：浮金行政区長 新田憲)

◆福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出

(陳情者：日本労働組合総連合会福島県連合会 田村地区連合会 議長 横田登)

6人の議員が一般質問

町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。掲載されていない質問項目の内容等は、6月下旬に小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。



◆会田 明生 議員 6ページ

- ◆平成27年度予算編成にあたっての創意工夫等について◆
- ◆ふるさと応援寄附金の使途の公表について◆
- ◆ふるさと応援寄附金の今後の展開について
- ◆町の農林業の将来像について

◆籠田 良作 議員 7ページ

- ◆教職員の先進地視察について
- ◆教育環境の整備(数値目標)について
- ◆障がい者に対する専門員の配置について◆
- ◆右支夏井川河川改修事業の進捗状況について◆

◆吉田 康市 議員 8ページ

- ◆人口減少に対する今後の対策について◆
- ◆子どもの出生増加に向けた対策について
- ◆有害鳥獣駆除の今後の町対応について◆
- ◆イノシシの捕獲に対する報償費等の増額について
- ◆振興作物(にんにく)の推進について
- ◆黒にんにく加工場の確保について
- ◆工業用地の確保について(企業誘致関連)
- ◆旧夏井第二小学校、旧小戸神小学校、旧雁股田分校の今後の利用について
- ◆町道等の冬期間の日陰になる立木等の伐採について

◆宗像 芳男 議員 9ページ

- ◆町政報告会の結果について
- ◆平成27年度以降の重点政策について◆
- ◆過去に制定された条例等の見直しについて
- ◆公立小野町地方総合病院開院と今後について
- ◆温浴施設等健康づくりに関連した施設建設について
- ◆弱者による高齢者介護について
- ◆農業後継者育成に対する具体策について
- ◆農業基盤整備事業の進め方と見直しについて
- ◆坂東内地区の国道349号と県道・町道の交差点について
- ◆町道、農道、生活道の明確な設定基準について
- ◆認定子ども園の建設等に関する保護者とのコンセンサスについて◆
- ◆町内小学校の統合について
- ◆老朽町営住宅の対策とその後について

◆竹川 里志 議員 10ページ

- ◆小野ウェストパークの高上げ計画の概要について◆
- ◆小野ウェストパークの高上げ計画に対する住民説明会について◆
- ◆小野ウェストパークの安全性や公害防止協定について
- ◆米価下落について
- ◆農地中間管理機構(農地集積バンク)について
- ◆農業と町民、その他の団体との連携について
- ◆農業関係に特化した人材の起用について

◆田村 弘文 議員 11ページ

- ◆幼児施設、小学校の再編が目標どおりに進まない理由について
- ◆子どもに最良の教育環境の提供について
- ◆新たな教育環境整備の基本方針の策定について
- ◆文部科学省の公立小・中学校適正規模、配置基準の手引きをどのように考えるか◆
- ◆防災授業への取り組みについて
- ◆町が把握している小野町の空家の現状について
- ◆空家等対策の推進に関する特別措置法への対応について
- ◆「まち・ひと・しごと創生」総合戦略の評価について
- ◆「まち・ひと・しごと創生」総合戦略への取り組みについて◆

問 障がい者に対する専門員の配置について

答 積極的に研修を受け、総合的な相談・支援体制の充実を図る



籠田 良作 議員

問 小野町障がい者計画、障がい福祉計画には、地域生活への支援として就学児童特別支援教育の充実、雇用や就労の推進、自立した生活への支援等がありますが、福祉問題はさまざまな課題が山積しています。このような状況から考えますと障がい者福祉に従事する専門員が不可欠であると考えます。ノーマライゼーション*の理念に基づき専門員の配置について町長の考えを伺います。

*ノーマライゼーションとは、障がい者や高齢者がほかの人々と等しく生きる社会・福祉環境の整備、実現を目指す考えであります。

町長 身近なところで、気軽に、的確な情報の提供や相談を受けることができるよう、職員には障がいに対する知識を深めるため、積極的に研修等に参加させ、相手の立場に立った適切な総合的な相談・支援体制の充実を図っていききたいと考えます。

問 右支夏井川河川改修事業では、本町付近を優先に工事を進めるとのことですが、これまでの事

答

移転対象建物の物件調査等を実施

業進捗状況と今後の計画について、さらには家屋移転対象者訪問の確認結果がどのように進展しているのか伺います。

町長 優先的に工事を行う区域を中心に、移転が必要な建物の物件調査を順次行っており、一部は契約が完了しています。また、移転対象の53世帯を訪問し、移転に関する考え方を確認しましたところ、約半数の方が代替地を希望されており、町としては、中通地区に住宅用地を造成し、土地の斡旋等を行う予定のほか、公営住宅の空き状況などの情報を提供していきたく考えます。



町で住宅用地を造成中(中通地区)

問 平成27年度予算編成にあたっての創意工夫等について

答 町民目線で中長期的な視点に立った予算を編成



会田 明生 議員

問 小野町の人口が1万人を割るころとなる重要な時期に直面し、発想の転換、新たな挑戦が必要不可欠であると考えますが、新年度の予算編成にあたっては、当町の諸課題解決・特徴的なまちづくりを推進するため、どのような創意工夫が盛り込まれているのか伺います。

町長 平成27年度当初予算は、少子高齢化への対応、町経済の活性化、雇用の確保、原子力災害からの復興など、町が直面する様々な課題を解決していくため、限りある財源の効果的かつ重点的な配分を基本姿勢に、町民目線の中長期的な視点に

立った予算を心がけ、編成したものです。

再質問 創意工夫の具体的な内容について伺います。

町長 具体的には、道路、消防施設、文化施設などのインフラ整備に加え、住民の日常生活に密着する防犯灯のLED化、地区集会施設、スクールバスの整備や少子化対策充実に資するため、放課後子供教室設置、妊産婦の医療費無料化、産後検診費用の助成などの予算を計上しました。

再々質問 創意工夫を凝らした事業を展開するためには、町民と接する機会が多い職員の意識改革が必要と思えますが、町長の考えを伺います。

町長 多くの町民の声に耳を傾け、共通認識のもと各課横断的に各施策を展開できるように職員を教育していきたい。



定住・二地域居住推進事業による「田舎暮らし体験ツアー」(平成27年度重点事業)

思いに込めるためにも、どのような事業に活用されたのか、わかりやすく公表する必要があります。町長の考えを伺います。

問 「小野小町ふるさと応援寄附金」の使い道は「次世代育成支援」、「文化体育支援」、「まちづくり支援」の三つの分野に設定されており、寄付された方が使い道を選べます。広報紙やホームページで掲載された方々の思いに込めるためにも、どのような事業に活用されたのか、わかりやすく公表する必要があります。町長の考えを伺います。

答

公表方法は改めて検討する

ページでは氏名と使道は掲載されてい

い道は掲載されてい

るもの、寄付され

た方が関心を持つと

考えられる「寄附金

がどのような事業に

使われたのかについ

てまでは掲載されて

いません。

寄付された方々の

思いに込めるため

にも、どのような事

業に活用されたのか、

わかりやすく公表す

る必要があります。

町長の考えを伺い

ます。

の考えを伺います。

問

ふるさと応援寄附金の使途の公表について

町長 寄附金活用の具体的な事業の公表は、「寄附いただいた方の思いを十分尊重し、その思いを的確に町の施策に反映させていく」という観点から、効果的であると考えますので、充当する事業やその公表方法等について、改めて検討したいと考えます。

再質問 先ほどの答弁内容では、具体的な事業を公表するのかわりに、読み取れませんでしたので、公表を前提とした検討をするのか、再度確認します。

町長 公表することについては検討が必要でありますので、この場で明確な答弁は差し控えます。

問 平成27年度以降の重点政策について

答 人口減少対策を最優先課題として重点的に取り組む

町長 平成27年度は、第四次小野町振興計画の主要プロジェクトと併せて、人口減少対策を最優先課題として重点的に取り組むほか、東日本大震災からの復興、そして、本年が小野町60周年を迎えることから、その記念事業を推進していきます。なお、今後も重点的に取り組む様々な施策を、優先順位をつけながら実施計画で整理していく考えであります。その中でも、農業を



町長 地方創生の人口ビジョン対策の中で考えていきます。



小野わかば幼稚園



中央さくら保育園



宗像 芳男 議員

問 更なる町政発展のためには、平成27年度以降山積する諸案件の中で、どのような政策を重点として執行されるのか伺います。

町長 平成27年度は、第四次小野町振興計画の主要プロジェクトと併せて、人口減少対策を最優先課題として重点的に取り組むほか、東日本大震災からの復興、そして、本年が小野町60周年を迎えることから、その記念事業を推進していきます。

再質問 人口減少が進む中、どのようなまちづくりが必要となるのかという将来に向けての考えを持つべきと思いますが、町長の考えを伺います。

始めとする産業基盤の構築や将来にわたって安心して働き、希望にに応じた結婚、出産、子育てをできる環境の構築を重点施策として取り組んでいきたいと考えています。

問

認定子ども園の建設等に関する保護者とのコンセンサスについて

答

過去に教育アンケートを実施

問 町では、認定子ども園整備に関する検討会を設置し検討が進められていますが、町内の幼保施設を統合することについては、保護者の方々の理解を得ることが必須条件であると考えます。保護者の方々は、どのような方々とはコンセンサス

が取れているのか伺います。

として保護者の代表や地域住民の方々に参加していただき、教育アンケートを実施し、その結果をもとに委員会での検討を経て、基本方針を策定した経緯があります。

町長 各地域の保護者みなさんのコンセンサスについては、平成18年に「小野町教育環境整備の基本方針」を策定するにあたり、検討委員会の委員

問 人口減少に対する今後の対策について

答 平成27年度の重点事業を中心に現行の対策を展開する



吉田 康市 議員

問 人口減少が進む中、当町では企業誘致を推進し雇用拡大による人口の増加、定住・二地域居住推進事業による定住人口の増加など人口減少対策を展開していますが、更なる対策を早急に組み込む必要が有ります。町長は人口減少に対し今後どのような対策を検討されているのか伺います。

町長 引き続き、企業誘致の推進、婚活支援、保育料の軽減等の人口減少対策を行うとともに平成27年度の重点事業に位置付けている出合いの場創出事業、定住・二地域居住推進事業、妊婦健康診査事

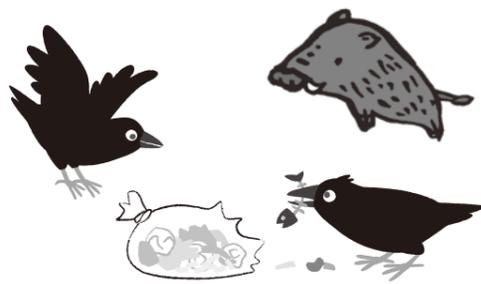
町長 専門の担当職員の配置も含めまして、人口減少に向けた施策を検討していきたい。

再質問 人口減少の対策については、もつと危機感を持って対応しなければいけない問題であります。例えば専門の担当職員などを配置するといった考えがあるのか伺います。



田村警察署職員から事故防止講習を受ける鳥獣被害対策実施隊のみなさん

町長 町では、鳥獣被害対策実施隊へ委託し、銃器やくくりわなによる捕獲を実施しています。今後の被害対策としては、県や近隣市町村との連携を図るとともに、鳥獣被害対策実施隊と協議をしながら、銃器やくくりわなによる捕獲や報償費の支給による対応を継続していきたいと考えています。



町長 平成27年度予算に新たに狩猟免許を取得する方に対する助成を計画するなど、隊員確保に向けた対策を引き続き検討していきたい。

問

有害鳥獣駆除の今後の町対応について

答

鳥獣被害対策実施隊と協議しながら対応について

問 東日本大震災以降、イノシシの頭数は増えており、これまでイノシシの被害のなかった場所でも被害を受けている状況です。現在、イノシシ

の捕獲は鳥獣被害対策実施隊の方々にお願いしていますが、まだまだ捕獲が追いついていません。

再質問 鳥獣被害対策実施隊の隊員確保のための対応について町長の考えを伺います。

このような状況の中、町では今後増え続けるイノシシからの被害を防ぐためにどのような対策を行っていくのか伺います。

問 文部科学省の公立小・中学校適正規模、配置基準の手引きをどのように考えるか

答 手引書の内容を踏まえながら、学校の適正配置を進める



田村 弘文 議員

問 文部科学省から公立小・中学校の適正規模、配置の基準等を示した手引書が6年ぶりに内容の見直しが行われました。手引書では、小規模校の課題として多様な発言を引き出しにくい、集団行事が限定される、クラス替えができないなど学校運営上の問題が指摘されています。一方で地理的に統廃合が困難な地域や地域のために存続させたい場合には、情報通信技術を活用したり、他の学校との合同授業を行うことが示されています。

再質問 学校は教育だけの場ではなく、どちらかという地域コミュニティの場でもあります。学校を統合して最良

町長 文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」が示された背景には、少子化のさらなる進展によって学校が小規模化の中で切磋琢磨しながら学んだり、社会性を高めたりするのが難しくなるなどの課題があるからです。小野町における学校の適正配置を進めるにあたっては、この手引書を踏まえながら、地域の実情や多くの皆様の意見をしっかりと受け止めて、取り組む必要があると考えています。

目安に合致するものと考えますが、公立小中学校適正規模・配置基準について町長の考えを伺いたい。



小野町地域創生総合戦略推進本部会議の様子

小野町が今回策定する総合戦略は、何の施策に重点を置き、他町村との違いを明確にして推進していくことが大切であると思います。今後総合戦略の協議を進める中で、既に策定している第四次小野町振興計画及び小野町過疎地域自立促進計画をどのよう

※「まち・ひと・しごと創生総合戦略」とは、人口急減超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、政府体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することを旨として制定された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、平成27年度を初年度とする今後5か年の政策目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

町長 「地方版総合戦略」は、「第四次小野町振興計画後期基本計画」及び「小野町過疎地域自立促進計画」の内容を踏まえたうえで、それぞれ計画で有効に活用できる財政支援の組み合わせを考慮しながら、策定や取り組みを進めていきたいと考えています。

問 「まち・ひと・しごと創生」総合戦略への取り組みについて

答 振興計画・過疎計画の内容を踏まえながら取り組み

取り組むのか伺います。

問 小野ウェイストパークの嵩上げ計画の概要について

答 5メートルの段を2段高上の計画



竹川 里志 議員

問 最終処分場である小野ウェイストパークの嵩上げ計画の内容と創業からの経緯を伺います。

町長 小野ウェイストパーク一般廃棄物最終処分場は、平成8年4



小野ウェイストパーク一般廃棄物最終処分場

月から10年計画で埋立てが実施され、10年経過後においても残余容量があることから、5年間の延長を行ったところであり、平成23年3月31日をもって廃棄物の埋立てが終了、現在は最終緑化工事が実施されています。

今回の嵩上げ計画は、現在の開発区域において、現状の内容を変更することなく、廃棄物の量のみ変更するもので現在の埋立ての上段部に5メートルの段を2段高上げする計画です。

町民生活課長 ウィズウェイストジャパン社では嵩上げ計画に関する住民説明会を夏井行政区と南田原井行政区の住民を対象に2回開催しました。

1回目は11月26日両行政区民を対象に夏井多目的集会施設で実施し、16名が出席され小野ウェイストパークのこれまでの経緯、嵩上げ計画概要について説明がありました。出席者

再質問 嵩上げ計画に対する町の方針については、説明会で話し合いがあったから、嵩上げの理由、地形的な安全性の問題、埋立て終了の経緯などの質問がありました。

2回目の説明会は1回目の説明会の質問や意見を踏まえ、小野ウェイストパークで、南田原井行政区民には2月22日に、夏井行政区民には3月1日に行い、合計で23名が出席され、嵩上げ計画の概要等について、再度説明が行われ、また施設内の見学会が実施されました。出席者からは、嵩上げ実施の際の放射性物質の測定要望等がありました。



一般廃棄物最終処分場の視察

町長 地元住民に対して、ウィズウェイストジャパン社から説明を行っている段階でありますので、説明会の状況等を踏まえながら総合的に判断したいと考えています。

問 小野ウェイストパークの嵩上げ計画に対する住民説明会について

答 夏井行政区、南田原井行政区を対象に説明会を開催

のか。それとも別の機会に町の方針を報告するのかが伺います。

5月第1回会議開催

5月14日に平成27年小野町議会5月第1回会議を開催し、次の議案を全員賛成で議決しました。また、平成26年度一般会計補正予算、小野町税条例等の一部改正などの専決処分4件について町長から報告がありました。

告について

◆**報告第4号**
小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について

◆**報告第3号**
小野町税特別措置条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について

◆**報告第2号**
小野町税条例等の一部を改正する条例の専決処分の報告について

◆**報告第1号**
平成26年度小野町一般会計補正予算(第9号)の専決処分の報告について

専決処分(※)の報告

報告事項

◆**議員派遣について**(議員提出議案第4号)議案提出者・宇佐見留男議員
議案の審査又は町の事務調査などのため議員を派遣するため、小野町議会会議規則第14条により提案したものです。

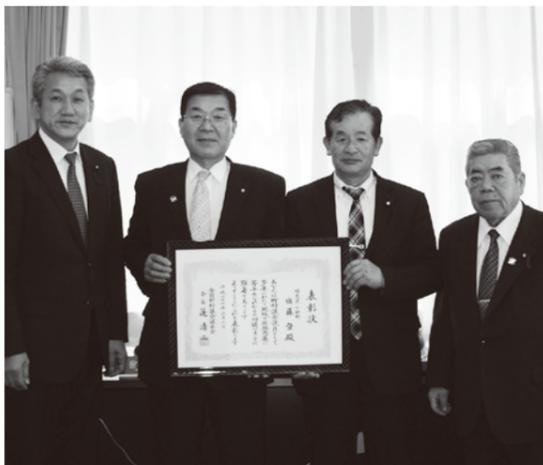
議員提出議案

◆**平成27年度小野町一般会計補正予算(第1号)**(議案第43号)
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,929万9千円を追加し、予算の総額を50億7,429万9千円とするものです

町長提出議案

佐藤議員と遠藤議員に自治功労者表彰

町村議会議員として、多年にわたり地方自治の振興発展に顕著なる功労が認められ、佐藤登議員(町村議会議員15年以上)は去る2月6日に全国町村議会議長会より、遠藤議員(町村議会議員10年以上)は去る4月15日に田村地方町村議会議長会よりそれぞれ表彰されました。



▲町長に受章報告した佐藤議員(右から2人目)



▲表彰を受ける遠藤議員(右)

追跡

どうなった? あの一般質問を検証!

過去の一般質問から「検討したい」という答弁だったものを取り上げ、その後の町の対応を検証します。

街中賑わい創出事業について

質問

小野町では、平日でも中心市街地の商店のシャッターが閉ざされ、日曜日はさらにシャッターが閉ざされています。この現状をどのように考え、街中の賑わいをどのように創出するのかお伺いします。
(平成24年第4回定例会)

答弁

街中の賑わい創出について、これまでの支援策も継続しながら、関係機関と協力し、タイアップ事業を実施したいと考えます。

その後

街中の賑わいを創出し、元気なまちづくりを図るため、プレミアム付商品券発行助成やご当地グルメPR活動助成等による商工関係団体への支援策、リカちゃん通りイルミネーション事業の拡充を行ってきたほか、関係機関とタイアップし、リカちゃんキャッスル開業20周年イベントなどを行いました。今年度も、安全安心で元気ある街中を創出するため、「元気発信おのまち交通安全パレード」や「LED防犯灯への更新事業」、国の交付金を活用したプレミアム付商品券の発行を行います。

上水道整備について

質問

石綿セメント管は老朽化が進み早急に布設替が必要であります。これまでの進捗状況からみると、全て完了するまで相当の期間を要します。生命の根幹をなす飲用水の問題でありますので、早急な対策を求めます。
(平成25年定例会6月第2回会議)

答弁

早急な進捗が図れるよう国庫補助金等の財源確保に努め、公営企業会計の収支状況を踏まえ、更新を推進していきます。

その後

石綿セメント管等の老朽管の更新は、水道水の安定供給を図るうえからも大変重要な課題ですが、多額の費用を要することから、国庫補助事業及び東日本大震災復興支援基金等を最大限活用し、継続的に老朽管の布設替えを行っています。今後も引き続き、重要給水施設配水管事業等の補助事業を活用しながら、老朽の著しい箇所から順次、更新を進めていきます。

議会活動トピックス

公共施設建設等調査検討特別委員会行政調査(2月27日)

公共施設建設等調査検討特別委員会では、町で検討が進められている「温浴・交流複合施設」の整備に関して、他町村での事例を調査するため、鮫川村の「村民保養施設 さぎり荘」を視察し、施設の整備に至った経過と現在の活用状況等について調査しました。



葉たばこ播種状況視察(3月10日)

厚生産業常任委員会では、町内にある「葉たばこ共同育苗施設」において行われた平成27年産「葉たばこ」の播種(種まき)の状況を視察しました。この施設では小野町と近隣市町村の農家72戸分の苗を育てる予定です。今年度の葉たばこ共同育苗事業の概要について説明を受けました。



総務文教常任委員会を開催(4月14日)

総務文教常任委員会では、平成27年度の委員会活動方針等を協議するため委員会を開催しました。
今年度は、当委員会が所管する事務事業の執行状況調査をはじめ、過疎対策、教育基本方針、議員発議による条例制定に関する調査研究等を実施することとしました。
また、他の自治体の先進事例の調査活動についても協議しました。



人口問題総合戦略検討会議を設置(4月14日)

議会活動日誌

2月 February

10日 ■議会運営委員会・全員協議会

■2月第1回会議

■月例全員協議会

■議会議員研修

12日 ■議会広報編集委員会

■郡山地方広域消防組合議会(郡山市)

14日 ■公立小野町地方総合病院落成式開所記念式典

15日 ■B&G杯ビーチバレーボール行政区親善交歓会

17日 ■田村広域行政組合議会(三春町)

19日 ■企業対策特別委員会(町内企業訪問)

20日 ■B&G杯室内ゲートボール大会

22日 ■田村三方部親善剣道大会

23日~24日 ■国会議員への要望活動(東京都)

25日 ■例月出納検査

■福島県町村議会議長会定期総会(福島市)

27日 ■公共施設建設等調査検討特別委員会行政調査(鮫川村)

3月 March

1日 ■県立小野高等学校卒業式

2日 ■議会運営委員会

■全員協議会

5日~13日 ■小野町議会定例会3月会議

10日 ■葉たばこ播種状況視察

12日 ■議会広報編集委員会

13日 ■小野中学校卒業式

■月例全員協議会

18日 ■小野わかば幼稚園卒園式

19日 ■浮金つじ児童園卒園式

■小野町認定農業者会総会

20日 ■小野町交通安全対策協議会

■公共施設建設等調査検討特別委員会

■小野町議会だより広報モニター第2回会議

21日 ■JR小野新町駅開業100周年イベント

23日 ■小野新町小学校卒業式

■飯豊小学校卒業式

■浮金小学校卒業式

■夏井第一小学校卒業式

24日 ■県道小野富岡線(吉岡田工区)安全祈願祭・開通式(いわき市)

■郡山地方広域消防組合臨時議会

(郡山市)

25日 ■田村郡町村監査委員協議会設立総会(三春町)

■例月出納検査

27日 ■中央さくら保育園卒園式

■飯豊ひまわり保育園卒園式

■夏井おおすぎ保育園卒園式

28日 ■小野町スポーツ民謡協会総会

■小野町婦人会定期総会

30日 ■公立小野町地方総合病院企業団議会

4月 April

3日 ■中央さくら保育園入園式

■飯豊ひまわり保育園入園式

■夏井おおすぎ保育園入園式

6日 ■小野中学校入学式

■小野新町小学校入学式

■飯豊小学校入学式

■浮金小学校入学式

■夏井第一小学校入学式

7日 ■浮金つじ児童園入園式

■小野わかば幼稚園入園式

8日 ■小野町立小野高等学校入学式

9日 ■県立小野町議会議長会(三春町)

13日 ■田村地方市町議会議長会(三春町)

14日 ■総務文教常任委員会

■月例全員協議会

15日 ■人口問題総合戦略検討会議

■小野町観光協会総会

■田村地方町村議会議長会

■田村地方町村議会議長会

■自治功労者表彰式

17日 ■厚生産業常任委員会

■小野町長杯ゲートボール大会

20日 ■阿武隈高原中部観光連絡協議会総会

22日 ■小野町民生委員協議会総会

23日 ■例月出納検査

24日 ■小野町消防団春季検閲式

26日 ■日赤奉仕団すみれ会総会

27日 ■小野町石材組合定期総会

28日 ■小野町体育協会総会

29日 ■こまち桜回廊まつり

■川の手荒川まつり(東京都)

定例会6月会議は6月10日(水)に開会の予定です。

一般質問は夜間議会で6月11日(木)・12日(金)の予定です。傍聴をお待ちしています!

※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)

議会だよりをリニューアル

読みやすく親しみやすい広報紙とするため、8名の広報モニターの方々からいただいたご意見等を参考に、紙面をリニューアルしました。議会だよりが「町民と議会の架け橋」としての役割を果たせるようこれからも改善に努めていきます。

主な変更点

- 紙面のデザインに工夫を加えました。
- 写真とイラストを有効に活用していきます。
- 一般質問は議員ごとにページで区切りました。
- 新しい紙面に取り組みました。

【広報モニター(敬称略)】※50音順

郡 司 茂 雄 (吉野辺) 先 崎 徳 孝 (反 町) 中 村 和 子 (飯豊上) 村 上 剛 (反 町)
 佐 藤 京 子 (夏 井) 竹 川 幸 子 (中 通) 宗 像 良 徳 (夏 井) 村 上 輝 男 (飯豊上)

町民の



広報モニターの皆さんから、議会に思うことをお聞きしましたので、2回に分けてご紹介します。



先崎 徳孝さん

「岡目八目」という言葉があります。これは囲碁の対局において「当事者(対局者)よりもそれを見ている人のほうが冷静な情報収集により八手先を読んでいる」という言葉です。

これを町政に置き換えてみますと、町政の執行側の皆さんより、一歩距離をおかれている議員の皆さんの方が客観的な立場での分析等、先々を読める環境にあると思われまます。

議員の皆さんの日頃のご尽力に感謝しつつ、今後も町民の代表として、よりの確な情報収集や、町政のチェック機能としての役割、また議員の皆さんの発案による提案(立法)等、より良い町政のため、一丸となつてのご活躍を期待します。



郡司 茂雄さん

わが町は過疎地域となり、補助率が有利と歓迎する風潮もありますが、過疎法の要件を充足した状況に陥つた理解する必要があります。

人口減少問題は妙案がないとの逃避は、近い将来町崩壊への序章となるかも知れません。

議会が奔走して町民の英知を結集し解決策を講じないと、次世代から「何もしなかったから」と批判に曝されることとなるだろう。



宗像 良徳さん

おのまち議会だよりモニター会議で感じたことは、広報の必要性と、より多くの町民が読み、次号に期待するよう構成が大切であると思います。

議員各位の町政に関する質問や、町長・各課長の答弁など町民が関心を持つことが町発展につながるものと思います。

議員の皆様方の益々のご研鑽とご活躍をお願いします。



竹川 幸子さん

議会だよりでいつも思うことは、いろいろと討論されたうえで「検討します」という文章を見ますが、その後どうなったのかわかりたいと思います。

それから、少子化の問題ですが、これから成長する子ども達に、人材育成という形で、奨学金などを設けてみてはどうでしょうか。

また、若い人の選挙離れが進むなか、少しでも投票率を上げるため、生活に身近な若い女性の意見などを聞いてはいいかがでしょうか。

あじがや

カラフルなスポーツウェアで身を包み、青葉のさわやかな山登りを楽しめる季節になりました。

今回から小野町議会だよりを今まで以上に町民目線で皆様の声を反映し、より良い議会だよりになるよう町政の自身も分かりやすく、身近な情報誌として刷新し皆様へ届けるために8名のモニターの方々から紙面づくりの貴重なご意見・ご感想をいただきました。その内容を載せると同時に我々議員の活動状況をご理解いただけるような紙面づくりをいたしました。

もつといろいろな立場の多くの方々のご意見をお聞きしながら議会だよりを一緒に作るという作業が大切です。より良い町づくりの環としての議会だよりのあり方を考えていきますので、今後もご意見・ご感想をよろしくお願ひいたします。これから暑い時期を迎えます。ごつごつと自愛ください。

議会広報編集委員 竹川 里志



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。